

第 55 回 中国地区学校保健研究協議大会

職域部会 (1) 学校薬剤師部会報告

山口県学校薬剤師会 渡辺眞美子

1. 主題 各県の「くすり教育への学校薬剤師としての関わり方」について

2. 主催 山口県学校薬剤師会

3. 日時：平成 22 年 8 月 26 日（木）15：40~17：00

4. 会場：山口市男女共同参画センター（第 1 講座室）

5. 日程

15：40 開会

15：40 挨拶 山口県学校薬剤師会 会長 西村正広

15：50 シンポジウム

コーディネーター 山口県学校薬剤師会 副会長 深井邦彦

岡山県学校薬剤師会

・8月9日薬学セミナーを開催し、教育委員会の方にくすり教育に対するの考えをお聞きした。保健体育の時間や特別活動の中で学校薬剤師はサブティーチャーとして頼むことがあると言われた。

・小学生用に紙芝居を作成し、くすり教育に利用したいと計画している。

鳥取県学校薬剤師会

・行政と具体的に話し合っていない。

・OHPを作成し、授業している学校薬剤師もいる。

島根県学校薬剤師会

・データを取っていない。

・薬物乱用防止教育の講義は15%位実施している。

・文部科学省の指導により平成14年に評議員作る。

広島県学校薬剤師会

・平成20年度「教壇に立てる学校薬剤師をめざして」として広島県学校薬剤師会がくすりの正しい使い方等を2008年3月に中学校・高校・一般向けに作成し、活動している。

山口県学校薬剤師会

・平成20年8月にくすり教育検討委員会を設立し、メンバーは学校薬剤師7名、教育委員会2名、薬務課1名、養護教諭1名。

・くすりの正しい使い方のパワーポイントを日本学校薬剤師会が作成されたのを基本に作成し、活用している。

16：55 閉会挨拶 鳥取県学校薬剤師会

17：00 閉会